

# Greener Week 2013-2014

～はじめよう! 参加しよう! グリーナーのなろう!～

## 開催報告



北海道グリーン購入ネットワーク

今年で4年目を迎え、参加した多くの市民が様々な環境負荷低減活動やグリーン購入の意義などの理解を深め、環境意識をさらに高めるとともに、未来に続く北海道のためにできる事を考える象徴的な期間となることを目指し、市民・道民の環境意識をさらに高め、グリーン購入など市民を巻き込んだ行動によって地球環境の保全をより強力に推進するためのイベント期間「Greener Week 2013-2014」を実施し、[Part 1](#)(10月)・[Part 2](#)(2月)と期間を分けて開催した。

【 Part1 】 2013年10月13（日）～11月10日（日）

● 買うエコ体験セミナー ～Greenerになろう！～

内容：クイズ形式の消費者セミナー開催、購入体験モニターによる店舗内での“買うエコ体験”や、“麦チエックイズ”も。参加者にはエコグッズを進呈、購入体験モニター（各会場3名）には、商品券3,000円をプレゼント。

参加者：各約25名

日時： 10月13日（日）14:00～15:00

会場：イオンモール札幌苗穂（札幌市東区東苗穂2-3-1-1）



日時： 10月27日（日）13:00～14:00

会場：イオン北見店（北見市北進町1-1-1）



## ●グリーン購入実践講座

グリーン購入・北海道リサイクル認定制度を学び、日常生活や業務でどう活用できるかを考える機会とした。

日時：10月15日(火)13:30～17:00

会場：かでの2・7(札幌市北区北2西7)1050号室

内容：グリーン購入や北海道リサイクル認定制度について

1. 北海道におけるグリーン購入法への対応等について  
北海道環境生活部環境局循環型社会推進課  
循環推進グループ 主査 (利用促進) 三浦 誠 氏
2. 北海道リサイクル認定制度の紹介  
北海道環境生活部環境局循環型社会推進課  
循環推進グループ 主査 岡田 朋子 氏
3. グリーン購入に取り組む意義と導入・運用方法  
グリーン購入ネットワーク 事務局次長 深津 学治 氏

参加者：約20名



## ●Greenerバスツアー

びっくりドンキーえこりん村工場・ふゆみずたんぼ見学、ランチビュッフェ、江別製粉見学  
(麦チエンクイズ、農家訪問)

日時：10月16日(水) 9:00～16:00(札幌駅北口発着)

参加者：25名

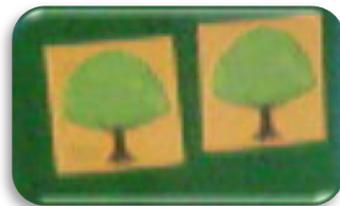


●ペロタクシーDE森づくり(北海道大学サステナビリティウィーク連携)

学生が運営し、北海道大学構内をペロタクシーが無料運行。多くの観光客や一般市民に利用された。

日時:10月26日(土)~11月10日(日)10:00~16:00

乗車客数:約700名



●環境・エネルギー国際シンポジウム

(札幌姉妹都市・北海道大学サステナビリティウィーク連携)

「地域のエネルギーは地域で創る。」をキーワードに、札幌市の姉妹都市韓国太田市、ロシアノボシビルスク市や道内外における再生可能エネルギーの現状と未来、目指すべき地域づくりのビジョンを共有・発信を行った。

日時:11月5日(火)13:00~

会場:北大学術交流会館2階講堂(札幌市北区北8西5)

参加者:約200名



## ●植林体験バスツアー

札幌白旗山にてカーボンオフセットを目的とし、ベロタクシー乗車客数分含めミズナラ約400本を植林した。

日時:11月3日(祝・日) 8:30~15:00

参加者:約15名



## 【 Part2 】 2014年2月4 (火) ~2月8日 (土)

### ●国際観光コンベンションフォーラム 2014in札幌(日本コンベンション研究会連携)

2020年東京オリンピックの開催も決定！日本はMICE創造に向けて新たな一歩を踏み出しました。全国のコンベンションビューロー、MICE関連団体・企業が集まって熱い議論を交わした。

日時: 2月4日(火)~5日(水)

会場:ロイトン札幌 2階

参加者:約280名



●エシカル購入国際シンポジウムin札幌(国際グリーン購入ネットワーク連携)

エシカル(倫理的)な視点で購入を考える、日本初のエシカル国際シンポジウム！  
2つの基調講演と4つのパネル討論を開催。  
日本、欧米、国連、アジアの専門家を集め、エシカル(倫理的)購入について議論。

日時: 2月6日(木)9:30~18:00

会場:ロイトン札幌 3階

参加者:約150名

◎基調講演Ⅰ

「人間世の時代におけるエシカル購入について」

「人間世の時代におけるノーベル化学賞受賞者ポール・クルツツェン博士は、2000年に現在の地質年代名「完新世」(Holocene)を「人間世」(Anthropocene)に変えて、人類の惑星管理責任(Planetary Stewardship)を明確にして持続可能発展に取り組むべきだと主張した。このような認識の基に持続可能な生産と消費、一つの地球のライフスタイル(One-Planet Living)等が重要課題となっていることなどを発表。

山本良一(IGPN名誉会長・東京大学名誉教授)



◎基調講演Ⅱ

「エシカル消費者の到来」

日本ではまだ耳慣れない言葉でもある「エシカル購入」。しかし欧米では既に政府機関や大学などでエシカル購入が始まっている。その背景には何があるのか？消費者と産業界の観点にフォーカスをした北米の動向を紹介した。

スコット・ケース(米国・ULエンバイアロメント社 マーケット開発部長)



## ◎パネル討論Ⅰ

### 「アジアにおけるエシカル購入市場の可能性」

アジアでのエシカル消費の展望は？日本、欧米、アジアで第一線で活躍する専門家がその可能性を語り合った。

#### 【コーディネーター】

中原秀樹(IGPN会長)

#### 【パネリスト】

山本良一(IGPN名誉会長)

スコット・ケース(米国・ULエンバイアロンメント社 マーケット開発部長)

ステファノス・フォティオウ(国連環境計画(UNEP)アジア・太平洋地域事務所上級地域調整官)

プラサド・モダック(インド・グリーン購入ネットワーク会長)



## ◎パネル討論Ⅱ

### 「フェアトレードで世界を変える」

フェアトレード(発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動)を通じて持続可能な開発を実現を考えた。

#### 【コーディネーター】

渡辺龍也(東京経済大学現代法学部教授)

#### 【パネリスト】

萱野智篤(北星学園大学経済学部経済学科教授)

原田さとみ(エシカル・ペネロップ(株)代表取締役、フェアトレード名古屋ネットワーク副代表)

中島佳織(特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン事務局長)



### ◎パネル討論Ⅲ

#### 「エシカルは美しくしなやかに」

エシカルは、英語で「道德、倫理上の」という意味。今、ファッションにおいてもエコやチャリティー、環境や産業復興、発展途上国への支援等、商品の製造の過程を知ること、心を豊かにすることをテーマに考えた。

#### 【コーディネーター】

林民子(NPO法人ソーシャルコンシェルジュの代表)

#### 【パネリスト】

庭野和子(ITC エシカル ファッション イニシアティブ ジャパン シニア コンサルタント)

森田わかな(クロマニオン代表)

林路美代(エシカルウェブマガジン & セレクトショップDGBH, SHOKAY共同代表)



### ◎パネル討論Ⅳ

#### 「企業におけるCSR調達」

今、企業に対する評価は、従来の売上、利益、規模等の経済的側面のみならず環境や社会貢献等多面的な側面が対象となり始めている。日本を代表する企業の多面的な取組をご紹介します。

#### 【コーディネーター】

荒木由季子(株式会社日立製作所 CSR・環境戦略本部本部長)

#### 【パネリスト】

古田清人(キヤノン株式会社 環境統括センター所長)

金丸治子(イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 部長)

佐藤昌孝(サッポロビール株式会社購買部グループリーダー)



## ●エコプロダクツ・エシカル展in札幌

日本では馴染みのない言葉「エシカル」。倫理的、道徳的という意味で、近年ものづくりやサービスにおいてもこのエシカルな視点を重視しようという動きが世界的に高まっている。今回のエシカル展には、先駆的に取り組んでいる日本企業・団体の出展ほか、フェアトレード、フィリピン復興支援展示コーナーも登場した。

日時：2月6日(木)・7日(金)10:00～17:00

会場：ロイトン札幌 3階ロイトンホール

参加者：約1,800名



## 特設ステージのトークイベント

6日11:00～ すすきもも(スローフード・フレンズ北海道事務局長)  
「美味しく・正しく・美しく」



6日12:00～ 阿部眞久(ワインクラスター北海道代表)  
「時代は北海道ワイン」



7日10:00～ CEPオフセットポイント推進委員会  
「どんぐりポイント普及セミナー」  
—どんでんひろげよう！どんぐりポイントの輪—



- 国際グリーン購入ネットワーク札幌フォーラム(国際グリーン購入ネットワーク連携)  
「持続可能な購入について、世界の動向とアジアの取り組みをディスカッション！」  
世界経済の中心地となったアジア太平洋地域では、持続可能な消費と生産の推進に対する重要性が国際社会で大きく認識されており、グリーン／サステナブル公共調達、そして環境ラベルの実施を推進する様々な国際的プロジェクトが始まっている。

日時:2月7日(金)9:00~12:20

会場:3F ロイトンホール

参加者:約100名

◎基調講演

「アジア太平洋におけるGPP/SPP推進の国際プロジェクト」

アジア太平洋地域のグリーンな社会・経済発展のため、国連などがどのようなイニシアティブで持続可能な消費と生産の課題に取り組んでいるかを紹介した。

\* GPP: グリーン公共調達 \* SPP: 持続可能な公共調達

ステファノス・フォティオウ

(国連環境計画(UNEP)アジア・太平洋地域事務所上級地域調整官)



◎プレゼンテーション

「各国のGPP現状と国際プロジェクトの影響」

【プレゼンター】

チャン・シャオ・ダン(中国連合環境認証センター副本部長、中国グリーン購入ネットワーク(CGPN)次長)

ソク・ソンウ(韓国環境産業技術研究院持続可能性戦略室 部長)

オーガスティン・コー(マレーシア・グリーン購入ネットワーク 事務局長)

ジューン・M・アルヴァレス(フィリピン環境保全・持続可能な開発センター 専務取締役)

プラサド・モダック(インド・グリーン購入ネットワーク会長)

シリタン・ピロジボリブン(タイ環境研究所 アドバイザー)

平尾雅彦(日本・グリーン購入ネットワーク会長)



## ◎パネルディスカッション

「世界的なSPPに関する動向を踏まえたアジアにおける取り組み」

持続可能な消費と生産の取り組みには不可欠なグリーン購入。グリーン購入の先進国である日本が今後アジア太平洋地域でどのような役割を担うべきかを議論した。

\* SPP: 持続可能な公共調達

### 【パネリスト】

ステファノス・フォティオウ(国連環境計画(UNEP)アジア・太平洋地域事務所上級地域調整官)

チャン・シャオ・ダン(中国連合環境認証センター副本部長、中国グリーン購入ネットワーク(CGPN)次長)

チャン・シャオ・ホイ(中国連合環境認証センター研究開発部)

ソク・ソンウ(韓国環境産業技術研究院持続可能性戦略室 部長)

イ・ヒョンジュ(韓国環境産業技術研究院グリーン製品振興室)

オーガスティン・コー(マレーシア・グリーン購入ネットワーク 事務局長)

ジョニ・チャン(グリーン購入ネットワーク・マレーシア 次長)

ジューン・M・アルヴァレス(フィリピン環境保全・持続可能な開発センター 専務取締役)

ロドラ・V・カテボグ(フィリピン環境保全・持続可能な開発センター グリーン購入プログラムマネージャー)

プラサド・モダック(インド・グリーン購入ネットワーク会長)

シリタン・ピロジポリブン(タイ環境研究所 アドバイザー)

平尾雅彦(日本・グリーン購入ネットワーク会長)

宇野治(日本環境協会 常務理事・エコマーク事務局長)

坂口昭一郎(環境省総合環境政策局調査官)

### 【司会】

中原秀樹(国際グリーン購入ネットワーク会長)



●グリーン購入全国フォーラムin札幌

「環境でこそ儲ける」をテーマに基調講演とパネルディスカッションを展開した。

日時：2014年2月7日（金）13:30～17:00

会場：3F ロイトンホール

参加者：約100名

◎基調講演

「環境で儲けて地球を救うー世界を変えるのは緑の需要から」

小林光（慶應義塾大学教授）



◎パネルディスカッション

「環境でこそ儲けるを具体的事例から考える」

【コーディネーター】平尾雅彦（GPN会長）

【パネリスト】6団体

・志山聡一郎（NECキャピタルソリューション）

・竹ヶ原啓介（日本政策投資銀行）

・田所憲一（デコス）

・遠山忠宏（開成）

・篠原道雄（本田技研工業）

・岡田芳明（三菱地所）

【総括】小林光（慶應大学大学）



◎かわらばん井戸端会議(ポスターセッション)19団体



●グリーンエクスカーション

旅程で排出したCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセットしてゼロ化し、どんぐりポイントを導入したバスツアーで、札幌市街や石狩平野の大パノラマも展望できる「大倉山ジャンプ競技場」、都市と農業の共存を目指して整備された田園テーマパーク「サッポロさとらんど」でのソーセージ作りと試食体験、そして最後は20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチ設計の「モエレ沼公園」にある、「ガラスのピラミッドHIDAMARI」内のフレンチレストランで地産地消の食材を取り入れた昼食をとり、新千歳空港にて解散。

日時:2月8日(土)9:30~17:00

参加者:約45名

